

第9期

運用報告書(全体版)

コモディティ・インデックスオープン

【2015年1月26日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
皆様の「コモディティ・インデックスオープン」は、2015年1月26日に第9期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>



※アクセスにかかる通信料はおお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産(商品先物)	
信託期間	2006年1月27日から、原則として無期限です。	
運用方針	<p>コモディティ・インデックスマザーファンドの受益証券への投資を通じて、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券に投資し、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスが表す世界の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行います。投資するユーロ円建て債券の価格は、為替相場の影響を受けますので、為替変動リスクがあります。</p> <p>※当ファンドでは、「Bloomberg Commodity Index」を「ブルームバーグ・コモディティ・インデックス」といいます。</p>	
主要投資対象	当ファンド	コモディティ・インデックスマザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	コモディティ・インデックスマザーファンド	ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を、主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	コモディティ・インデックスマザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	<p>毎年1月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益(マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。)と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。ただし、分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、分配を行わないことがあります。</p>	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ブルームバーグ・コモディティ・インデックス		為替レート(ドル/円)		債 組 入 比 率	券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分	み 配 金	期 騰 落	中 率	(参考指数)	期 騰 落			
	円	円	%	ポイント	%	円	%	%		百万円
5期(2011年1月26日)	6,733	0	4.5	158.117	17.0	82.20	△ 9.1	93.7		314
6期(2012年1月26日)	5,750	0	△14.6	145.601	△ 7.9	77.78	△ 5.4	95.4		204
7期(2013年1月28日)	6,449	0	12.2	140.647	△ 3.4	91.03	17.0	94.6		202
8期(2014年1月27日)	6,400	0	△ 0.8	127.002	△ 9.7	102.32	12.4	98.3		139
9期(2015年1月26日)	5,768	0	△ 9.9	101.131	△20.4	117.67	15.0	94.8		112

(注) 基準価額は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注) ブルームバーグ・コモディティ・インデックスは、当該日前営業日の現地終値です。なお、同指数は参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 「為替レート(ドル/円)」は、対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値です。

(注) 債券組入比率はマザーファンドへの投資を通じた実質比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

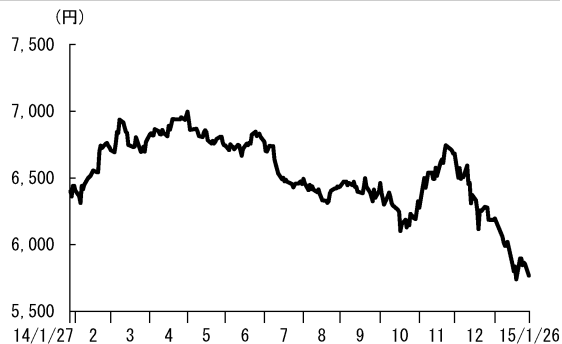
年月日	基準価額		ブルームバーグ・コモディティ・インデックス		為替レート(ドル/円)		債 組 入 比 率
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	騰 落 率			
(期首) 2014年1月27日	円	%	ポイント	%	円	%	%
	6,400	—	127.002	—	102.32	—	98.3
1月末	6,405	0.1	126.331	△ 0.5	102.86	0.5	98.1
2月末	6,709	4.8	133.332	5.0	101.94	△ 0.4	98.6
3月末	6,825	6.6	134.745	6.1	102.92	0.6	97.6
4月末	6,997	9.3	138.668	9.2	102.61	0.3	97.6
5月末	6,744	5.4	134.741	6.1	101.66	△ 0.6	98.3
6月末	6,771	5.8	135.887	7.0	101.36	△ 0.9	95.4
7月末	6,493	1.5	128.452	1.1	102.85	0.5	97.3
8月末	6,435	0.5	126.326	△ 0.5	103.74	1.4	93.0
9月末	6,462	1.0	120.425	△ 5.2	109.45	7.0	94.3
10月末	6,277	△1.9	117.949	△ 7.1	109.34	6.9	91.9
11月末	6,683	4.4	117.490	△ 7.5	118.23	15.5	93.5
12月末	6,196	△3.2	106.113	△16.4	120.55	17.8	92.4
(期末) 2015年1月26日	5,768	△9.9	101.131	△20.4	117.67	15.0	94.8

(注) 騰落率は期首比です。

◎基準価額の推移

基準価額は、前期末の6,400円から当期末には5,768円となり、632円の値下がりとなりました。

基準価額の推移



(注) 基準価額は1万口当たりです。

◎基準価額の変動要因

(主なプラス要因)

・特にありません。

(主なマイナス要因)

・組入れていた「コモディティ・インデックス マザーファンド」受益証券の値下がりが、主なマイナス要因となりました。

◎投資環境 (市況)

コモディティ市場は、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化により需要が伸び悩む一方、新規開発などから供給超過状態が長期化すると観測が強まり、軟調に推移しました。特に原油や天然ガスなどのエネルギーセクターは、北米のシェールオイル・ガスなど非在来型エネルギーの急ピッチな増産により世界的な供給過剰感が強まる中、石油輸出機構(OPEC)が2014年11月の総会で減産を見送ったことを受けて、急落する展開となりました。

◎ポートフォリオについて

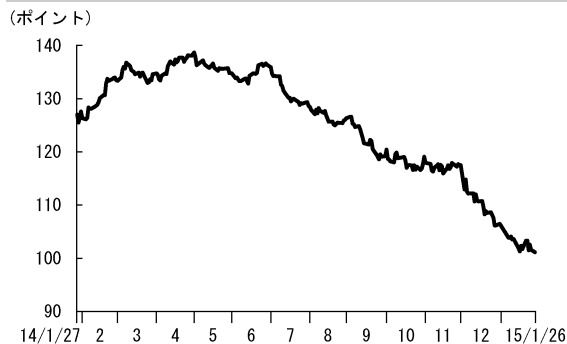
主要な投資対象である「コモディティ・インデックス マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。

◎参考指数との比較

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、基準価額の騰落率は参考指数としているブルームバーグ・コモディティ・インデックスの騰落率を上回りました。円安の進行が、参考指数の騰落率を上回る主な要因となりました。

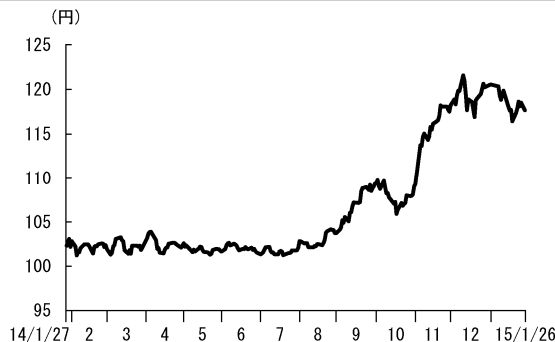
※ダウジョーンズUBSコモディティ・インデックスは、2014年7月1日より、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスに名称が変更となりました。

ブルームバーグ・コモディティ・インデックス



(注) ブルームバーグ・コモディティ・インデックスは、当該日前営業日の現地終値です。

為替レート(ドル/円)



(注) 為替レートは(ドル/円)は、対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値です。

◎分配金

当期の分配金につきましては、基準価額水準等を考慮して見送りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

◎今後の運用方針

主要な投資対象である「コモディティ・インデックス マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に保つ方針です。

(分配原資の内訳)

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第9期
	2014年1月28日～ 2015年1月26日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	244

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2014年1月28日～2015年1月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	89	1.346	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(42)	(0.647)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0.646)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	13	0.198	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(12)	(0.185)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	102	1.544	
期中の平均基準価額は、6,583円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切り捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年1月28日～2015年1月26日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
コモディティ・インデックス マザーファンド	20,605	13,000	46,216	32,500

(注) 口数・金額の単位未満は切り捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2014年1月28日～2015年1月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年1月26日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
コモディティ・インデックス マザーファンド	201,232	175,621	110,220

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

(2015年1月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コモディティ・インデックス マザーファンド	110,220	97.0
コール・ローン等、その他	3,354	3.0
投資信託財産総額	113,574	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年1月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	113,574,811
コール・ローン等	3,354,731
コモディティ・インデックス マザーファンド(評価額)	110,220,080
(B) 負債	841,658
未払信託報酬	833,712
その他未払費用	7,946
(C) 純資産総額(A-B)	112,733,153
元本	195,435,081
次期繰越損益金	△ 82,701,928
(D) 受益権総口数	195,435,081口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,768円

(注) 運用報告書作成時点では、監査未了です。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は0.5768円です。

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は82,701,928円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は218,207,031円、期中追加設定元本額は26,552,145円、期中一部解約元本額は49,324,095円です。

○損益の状況

(2014年1月28日～2015年1月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	514
受取利息	514
(B) 有価証券売買損益	△ 9,250,032
売買益	1,037,763
売買損	△10,287,795
(C) 信託報酬等	△ 1,781,301
(D) 当期損益金(A+B+C)	△11,030,819
(E) 前期繰越損益金	△13,797,772
(F) 追加信託差損益金	△57,873,337
(配当等相当額)	(4,107,070)
(売買損益相当額)	(△61,980,407)
(G) 計(D+E+F)	△82,701,928
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△82,701,928
追加信託差損益金	△57,873,337
(配当等相当額)	(4,107,074)
(売買損益相当額)	(△61,980,411)
分配準備積立金	679,648
繰越損益金	△25,508,239

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C)信託報酬等は消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第9期
(a) 配当等収益(費用控除後)	0円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	4,107,074円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	679,648円
分配対象収益(a+b+c+d)	4,786,722円
分配対象収益(1万口当たり)	244円
分配金額	-円
分配金額(1万口当たり)	-円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項 目	説 明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項 目	説 明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

〈お知らせ〉

- ・ダウジョーンズUBSコモディティ・インデックスからブルームバーグ・コモディティ・インデックスへの名称変更に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日:2014年7月1日)
- ・法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日:2014年12月1日)
- ・2014年4月1日より、消費税率が5%から8%に引き上げられました。これに伴い、当ファンドの信託報酬等の税込みの費用も変更となります。

〈当ファンドの参考指数の著作権等について〉

ブルームバーグ・コモディティ・インデックスおよび「ブルームバーグ (Bloomberg®)」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー (Bloomberg Finance L.P.) およびその関係会社 (以下「ブルームバーグ」と総称します。) のサービスマークであり、岡三アセットマネジメント株式会社による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ・コモディティ・インデックスは、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー (UBS Securities LLC) の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社 (以下「UBS」と総称します。) のいずれも、岡三アセットマネジメント株式会社の関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、当ファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性を保証するものではありません。

コモディティ・インデックス マザーファンド

第9期 運用状況のご報告

決算日：2015年1月26日

「コモディティ・インデックス マザーファンド」は、2015年1月26日に第9期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を主要投資対象とし、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスが表す世界の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行います。
主要投資対象	ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ブルームバーグ・コモディティ・インデックス (参考指数)		為替レート (ドル/円)		債券組入比率	純資産額
	円	騰落率	ポイント	騰落率	円	騰落率		
5期(2011年1月26日)	7,028	5.9	158.117	17.0	82.20	△ 9.1	95.8	711
6期(2012年1月26日)	6,047	△14.0	145.601	△ 7.9	77.78	△ 5.4	98.4	393
7期(2013年1月28日)	6,886	13.9	140.647	△ 3.4	91.03	17.0	95.9	277
8期(2014年1月27日)	6,896	0.1	127.002	△ 9.7	102.32	12.4	98.9	220
9期(2015年1月26日)	6,276	△ 9.0	101.131	△20.4	117.67	15.0	97.0	159

(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) ブルームバーグ・コモディティ・インデックスは、当該日前営業日の現地終値です。なお、同指数は参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 「為替レート (ドル/円)」は、対顧客電信売買相場の当日 (東京) の仲値です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

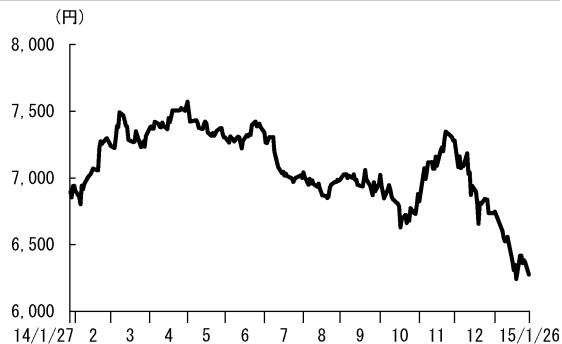
年 月 日	基 準 価 額		ブルームバーグ・ コモディティ・インデックス (参考指数)		為替レート (ドル/円)		債 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2014年1月27日	円 6,896	% —	ポイント 127.002	% —	円 102.32	% —	% 98.9
1月末	6,903	0.1	126.331	△ 0.5	102.86	0.5	99.4
2月末	7,241	5.0	133.332	5.0	101.94	△ 0.4	99.3
3月末	7,375	6.9	134.745	6.1	102.92	0.6	99.2
4月末	7,572	9.8	138.668	9.2	102.61	0.3	99.0
5月末	7,303	5.9	134.741	6.1	101.66	△ 0.6	99.4
6月末	7,341	6.5	135.887	7.0	101.36	△ 0.9	97.2
7月末	7,042	2.1	128.452	1.1	102.85	0.5	98.9
8月末	6,985	1.3	126.326	△ 0.5	103.74	1.4	93.9
9月末	7,023	1.8	120.425	△ 5.2	109.45	7.0	95.5
10月末	6,826	△1.0	117.949	△ 7.1	109.34	6.9	93.3
11月末	7,281	5.6	117.490	△ 7.5	118.23	15.5	94.8
12月末	6,748	△2.1	106.113	△16.4	120.55	17.8	93.3
(期 末) 2015年1月26日	6,276	△9.0	101.131	△20.4	117.67	15.0	97.0

(注) 騰落率は期首比です。

◎基準価額の推移

基準価額は、前期末の6,896円から当期末には6,276円となり、620円の値下がりとなりました。

基準価額の推移



(注) 基準価額は1万口当たりです。

◎基準価額の変動要因

(主なプラス要因)

・特にありません。

(主なマイナス要因)

・組入れていたユーロ円建て債券の値下がり、主なマイナス要因となりました。

◎投資環境（市況）

コモディティ市場は、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化により需要が伸び悩む一方、新規開発などから供給超過状態が長期化すると観測が強まり、軟調に推移しました。特に原油や天然ガスなどのエネルギーセクターは、北米のシェールオイル・ガスなど非在来型エネルギーの急ピッチな増産により世界的な供給過剰感が強まる中、石油輸出国機構(OPEC)が2014年11月の総会で減産を見送ったことを受けて、急落する展開となりました。

◎ポートフォリオについて

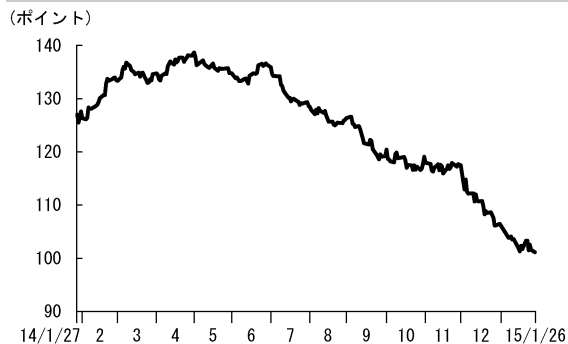
ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持しました。

◎参考指数との比較

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、基準価額の騰落率は参考指数としているブルームバーグ・コモディティ・インデックスの騰落率を上回りました。円安の進行が、参考指数の騰落率を上回る主な要因となりました。

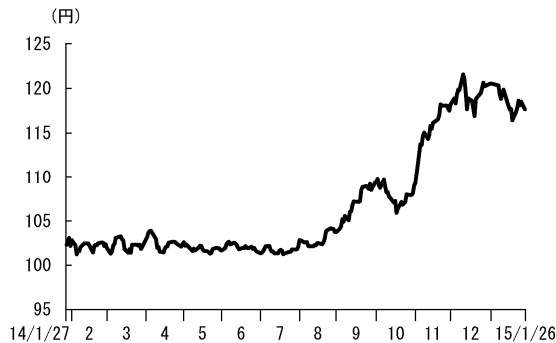
※ダウジョーンズUBSコモディティ・インデックスは、2014年7月1日より、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスに名称が変更となりました。

ブルームバーグ・コモディティ・インデックス



(注) ブルームバーグ・コモディティ・インデックスは、当該日前営業日の現地終値です。

為替レート(ドル/円)



(注) 為替レートは(ドル/円)は、対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値です。

◎今後の運用方針

ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に保つ方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年 1 月28日～2015年 1 月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 13 (13)	% 0.185 (0.185)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	13	0.185	
期中の平均基準価額は、7,136円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切り捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年 1 月28日～2015年 1 月26日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	普通社債券（含む投資法人債券）	千円 188,823	千円 240,318

(注) 金額は受渡代金です。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切り捨てです。

(注) 普通社債券（含む投資法人債券）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○ 利害関係人との取引状況等

(2014年 1 月28日～2015年 1 月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年1月26日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普通社債券 (含む投資法人債券)	170,000 (170,000)	154,246 (154,246)	97.0 (97.0)	— (—)	— (—)	— (—)	97.0 (97.0)
合 計	170,000 (170,000)	154,246 (154,246)	97.0 (97.0)	— (—)	— (—)	— (—)	97.0 (97.0)

(注) () は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 単位未満は切り捨てです。

(注) BB格以下組入比率は、S & P と Moody's の信用格付けのうち、高い方を採用しています。

(注) —印は組み入れがありません。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券(含む投資法人債券)	%	千円	千円	
UBS-COMMODITY 20151130	—(割引債)	100,000	90,770	2015/11/30
SG-COMMODITY 20151130	—(割引債)	70,000	63,476	2015/11/30
合 計		170,000	154,246	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) UBS-COMMODITY 20151130は、スイスのユービーエス・エージーのロンドン支店(UBS AG, London Branch)発行のユーロ円建て債券です。

(注) SG-COMMODITY 20151130は、ルクセンブルクのエスジー・イシューア(SG Issuer)発行のユーロ円建て債券です。

○投資信託財産の構成

(2015年1月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	154,246	97.0
コール・ローン等、その他	4,821	3.0
投資信託財産総額	159,067	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年1月26日現在)

○損益の状況 (2014年1月28日～2015年1月26日)

項目	当期末
	円
(A) 資産	159,067,067
コール・ローン等	4,821,066
公社債(評価額)	154,246,000
未収利息	1
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	159,067,067
元本	253,454,527
次期繰越損益金	△ 94,387,460
(D) 受益権総口数	253,454,527口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,276円

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	1,240
受取利息	1,240
(B) 有価証券売買損益	△12,138,000
売買益	2,745,000
売買損	△14,883,000
(C) 保管費用等	△ 354,423
(D) 当期損益金(A+B+C)	△12,491,183
(E) 前期繰越損益金	△99,128,738
(F) 追加信託差損益金	△ 9,658,666
(G) 解約差損益金	26,891,127
(H) 計(D+E+F+G)	△94,387,460
次期繰越損益金(H)	△94,387,460

(注) 当ファンドは監査対象ではありません。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は0.6276円です。

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は94,387,460円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は319,386,988円、期中追加設定元本額は27,658,666円、期中一部解約元本額は93,591,127円です。

(注) 当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、コモディティ・インデックスオープン175,621,543円、世界9資産分散ファンド(投資比率変動型)77,832,984円です。

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(G)解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

- ・ダウジョーンズUBSコモディティ・インデックスからブルームバーグ・コモディティ・インデックスへの名称変更に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日:2014年7月1日)
- ・法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日:2014年12月1日)

〈当ファンドの参考指数の著作権等について〉

ブルームバーグ・コモディティ・インデックスおよび「ブルームバーグ(Bloomberg[®])」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)およびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)のサービスマークであり、岡三アセットマネジメント株式会社による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ・コモディティ・インデックスは、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー(UBS Securities LLC)の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社(以下「UBS」と総称します。)のいずれも、岡三アセットマネジメント株式会社の関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、当ファンドを承認し、是認し、レビューしまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性を保証するものではありません。